

2009年9月8日

報道各位

住友金属鉱山株式会社

ミニ・マックス手法による金ヘッジの実施について

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区 社長：家守 伸正）は鹿児島県の菱刈鉱山において年間約 7.5 トン、米国アラスカ州のポゴ鉱山において年間約 11 トンの金を生産しております。

金価格が歴史的な高値圏にある現在、当社としては長期的に当社生産金の販売価格をヘッジ取引により確保する好機であると判断し、この度以下の通り両鉱山生産予定金の長期的なヘッジを実施しました。

1) 菱刈鉱山：2009年9月から2012年6月までの菱刈鉱山生産予定金量の内、四半期当たり900kg（年間3.6トン、年間生産量の48%）について、下限価格\$700/トロイオンス、上限価格\$1,700/トロイオンスのミニ・マックス（注1）によるヘッジを実行致しました。

2) P o g o 鉱山：2009年9月から2014年12月までのP o g o 鉱山生産予定金量の当社権益分85%の1/2について、同様のヘッジを実行致しました。但しP o g o 分についてはヘッジ契約が2つに分かれており、ヘッジ量全体の約28%については下限価格\$750/トロイオンス、上限価格\$1,850/トロイオンスのミニ・マックスであり、残り約72%については下限価格\$750/トロイオンス、上限価格\$1,700/トロイオンスのミニ・マックスとなっております。

（注1） ミニ・マックスについて

当社が一定量を例えば\$700/トロイオンスでトレーダーに売れる権利（プット・オプション）を買い、当社からトレーダーが一定量を例えば\$1,700/トロイオンスで買える権利（コール・オプション）を売ることにより、コストなしで\$700/トロイオンス～\$1,700/トロイオンスの幅で対象金量の実効販売価格を固定する取引。

本ヘッジ取引により、菱刈鉱山の場合生産予定金量の48%の販売価格は金のスポット価格が\$700/トロイオンス以下の場合は\$700/トロイオンスが確保され、スポット価格が\$700/トロイオンスから\$1,700/トロイオンスの場合はスポット価格通りとなります。またスポット価格が\$1,700/トロイオンス以上の場合は\$1,700/トロイオンスとなり、菱刈鉱山生産金の収益は一定の幅の中で確保されることとなります。P o g o 鉱山の場合も上限・下限価格が若干異なりますが、同様の効果が得られます。

本取引の実施により、当社は例えば菱刈鉱山の場合その生産金について将来の金価格が\$1,700/トロイオンスを超えて高騰した場合は、生産予定数量の48%につき\$1,700/トロイオンスを超える価格上昇メリットを享受できないリスクがありますが、逆に将来の金価格が\$700/トロイオンスを下回った場合は、生産予定数量の48%につき\$700/トロイオンスの販売価格を確保

できることになり、当社の業績安定に資するものと考えております。

以上

(本件に関するお問い合わせ先)

住友金属鉱山株式会社

広報 IR 部 大場 浩正

TEL : 03 - 3436 - 7705

FAX : 03 - 3434 2215